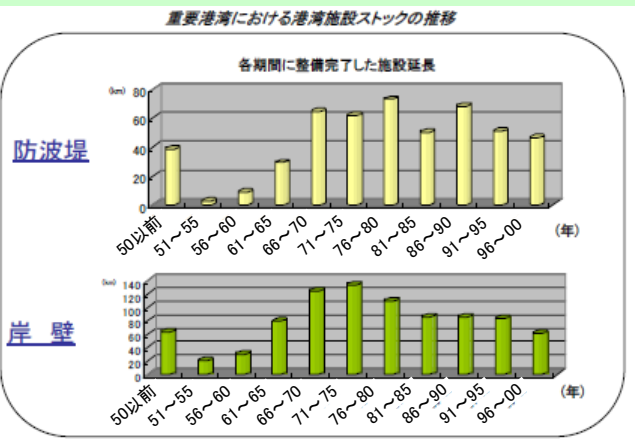




【背景】我が国の港湾施設のうち、防波堤と岸壁の過去50年余りにわたる整備状況は右図のようになっています。これは、施設の一部ですが、整備後50年を越え更新期を迎える施設が、今後増加していくことは明らかであり、維持・修繕・更新に必要となる維持管理費用は、2025年には現在の約2.5倍に達する見込みです。この背景を踏まえて、国土交通省は「港湾の施設の維持管理計画書作成の手引き(平成19年10月)」を発行しました。



国土交通省港湾局計画課 交通政策審議会資料[H17.5.17]

ここでは、これらの背景を踏まえて、今後実施していくべき施設の点検、アセットマネジメントの考え方を示します。

【施設の目視点検状況】



矢板式突堤の劣化(鋼矢板の腐食)状況

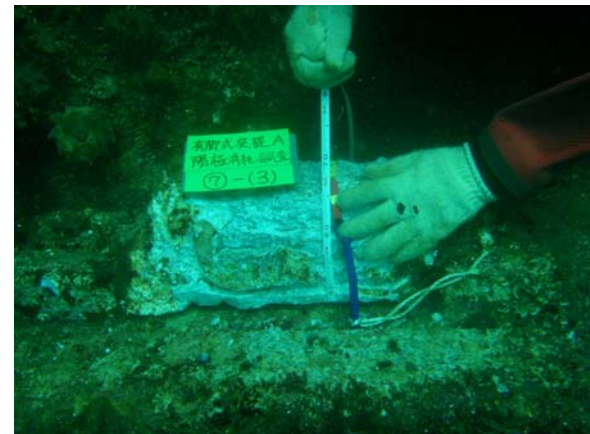


矢板式岸壁の劣化(腐食・吸出し)状況

【施設の詳細点検状況】



鋼管杭の肉厚調査状況(水中)



陽極消耗量調査状況(水中)

【アセットマネジメントのフロー】

港湾施設のアセットマネジメントは下図の維持管理計画書の体系に従って実施します。

